

# 地域ケア推進会議 かわら版

2021年9月／発行：燕市長寿福祉課地域支援相談チーム

## 第1回地域ケア推進会議を開催しました。

令和3年8月25日(水) 午後1:30～3:00 参集会場 燕市役所 101～102会議室  
オンラインと参集を合わせたハイブリット方式で開催しました。

オンラインでの参加委員数14名、参集での参加委員数4名、欠席委員数6名でした。

### 【議題】

- (1) 会長、会長代理の選出 → 次回に延期しました。
- (2) 地域ケア推進会議体制図の説明
- (3) 各部会・地域ケア会議の報告
- (4) グループワーク 第8期介護保険事業計画基本理念の実現に向けて  
～高齢者が住み慣れた地域で輝いて暮らせるまち 燕～



グループワークで出た意見です。

1～6Gの意見を集約し、一部抜粋して掲載しています。

【問題】状態は重くないのに(まだ家で過ごせるのに)、家族は「家では見られない。介護できない。」と入院や入所の話になる。独居で認知症があり、熱中症で入院したケースは熱中症が改善しても自宅に戻って来られない。

【原因】同居率が下がり、家族のマンパワーが落ちている。独居や高齢者のみの世帯が増えている。

【解決策】同居していても若い人は働いている...やむを得ないのか？

いかに独居や認知症高齢者を見守るか？ケアマネがいればその人の情報を共有できるが、いない人はどうすればいいのか？地域で見守れるようにみんなで考えていかなければならない。問題が起きる前からの関係作りが大事。

【問題】地域の中で、困っている人が埋もれている現状がある。

【原因】地域での交流が減っている。男性は地域とのつながりが薄い。地域での共通の話題がない。

新興住宅地は表札がない家も多い。コロナで立ち話もできなくなり家に閉じこもる。認知症の人は受診に行けなくてサービスにつながらない人もいる。

【解決策】ネットでつながるという方法もある。地域の行事(祭りなど)をみんなでやる。

80代以上の人は、遠くの人より近くの人とつながる必要がある。各地域に介護事業所がポツポツあるので、人が集まる拠点として活用してほしい。

気軽に立ち寄れる場所、楽しいことがある場所、居心地がいい場所があるとよい。

【問題】介護サービスを使いたくないという人がいる。

【原因】本人のプライドがあり、自分が要介護状態となっていることを認めたくない。

家族は「他人から家に入ってほしくない」「同居家族がいるなら、まずは家族が介護するべきと周りに思われてそう」と考える。状態が軽い人は、要介護の人と同じサービスは使いたくないと言う。状態が軽い人に紹介できる場が少ない。

【解決策】介護の心構え講座を市や事業者が開催する。半ば強制的にでも若い人に受けてもらいたい。本人は人生ノートを積極的に書く。

日頃から地域の高齢者同士つながっておくことが大切。そうすると暮らしについての情報を得る事ができる。

8050世帯は、本人(80)が自分よりも子供(50)の心配をしている状態。世帯まるごとを支援できなければ本人も幸せではない。

【問題】免許返納して外出(受診・買い物)に困っている人がいる。

【原因】自分で自動車運転する以外の手段(資源)が少ない

【解決策】ネットスーパー(宅配サービス)の利用。昔みたいに御用聞きがあるといい。

移動スーパー市内を回れるとよい(○曜日は○○地域など)。

スワロー号は時間の間隔が短くなるといい。免許返納時のタクシー券は1回限りだから継続するといい。友人が近くにいればいいが、いない人もいる。みんなで手助けできるといい。



ここで出たご意見は、三部会(認知症・医療介護連携・総合事業)の関連する議題と共に検討を継続していきます。

会議にご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。

新型コロナウイルスの影響、人口構造の変化、認知症高齢者の増加など、私たちの住む燕市の課題も変化しています。

地域ケア推進会議では、様々な立場や職種の皆様の声をもとに、現在の燕市の現状と課題をしっかりと把握し、その解決に向けて取り組みを続けて参ります。

引き続き、地域ケア推進会議や三部会へのご参加とご協力をよろしくお願いたします。



### 今後の予定 (開催方法は未定です)

地域ケア推進会議 令和4年2月8日(火) PM1:30~3:00

認知症支援部会 令和4年1月20日(木) PM3:00~4:30

在宅医療・介護連携推進部会 令和3年10月13日(水) PM1:30~3:00

総合事業部会 令和3年10月26日(火) PM1:30~3:00



発行：燕市健康福祉部 長寿福祉課 地域支援相談チーム

☎0256・77・8157

fax0256・77・8138